

## 背景・課題

### 風評による販売棚の喪失

- 8年が経過し、棚が他産地へ置き換えられ、価格水準の低下が固定化。
- 安全な農産物への関心の高まり。
- 納入業者は納入先の福島県産品の取扱姿勢を実態よりもネガティブに評価

### 産地間競争の激化

- 風評対策等原子力災害対応に追われ、産地強化対策に遅れ。
- 販売単価の低迷、コスト上昇による経営環境の悪化

### 生産構造の脆弱化

- 農業従事者の減少と高齢化が急速に進展し、担い手が絶対的に不足してきているとともに、生産基盤が減少。
- 新規就農者の経営不安定、離農

### 中山間地域等の活力低下

- 従事者減少や鳥獣被害等により農業生産活動の維持が困難となる地域が顕在化。
- 集落人口が減少し、個別集落では対応限界

### TPP11等の交渉妥結 日米貿易の交渉

- 関税削減等への対策が必要

## 施策の方向性

### 販路の拡大

- 消費者・流通業者等の理解促進
- 販売棚の獲得
- 海外を含めた販路拡大
- 安全な農産物の生産
- 有機農業の推進
- 風評の実態把握
- インバウンド需要への対応

### 産地の生産力・競争力強化

- 低下した生産力の強化
- 農畜産物等の高品質、高付加価値化
- ブランド確立を図る取組の強化
- 農業関連産業等との連携による生産力等の強化

### 多様な担い手の育成・確保

- 新規就農者の安定確保・定着
- 新規就農者や担い手の経営体質の強化・所得の確保
- 地域農業を支える若手農業者の育成
- 法人化や企業参入等による持続的な生産構造の確立
- 若い世代の農業への関心向上
- 農業労働力の確保

### 中山間地域等の活性化

- 地域資源を活用した所得の確保
- 魅力ある農山漁村の地域環境の維持・向上
- 集落間連携やネットワーク化
- 土地改良区の体制の強化

## 必要な対策の検討

※**赤字**は委員からの事前意見を基に加筆、修正  
※**青字**は昨年度からの状況変化により修正  
※**黒字**は昨年度の提言を記載

# 本県農業の課題解決に必要な対策

※**赤字**は委員からの事前意見を基に加筆、修正  
※**黒字**は昨年度の提言を記載

## 必要な対策

### 販路の拡大

#### ○ 消費者等の理解促進と信頼される産地づくりをすすめる

- 1 モニタリングや各種検査等による安全確保と分かりやすい情報発信を行う
- 2 認証GAP取得等を**継続的に**支援し、安全性、品質の確保と信頼される産地を育成するとともに、**流通・消費段階での認知度向上を図る**

#### ○ 販路開拓とブランディングにより販売力の強化を図る

- 3 長期かつ安定的な取引を構築するため、**県内外における**販促フェアや商談会等の取組を支援し、常設棚の確保や**利用の拡大**をすすめる
- 4 量販店やオンラインストア活用等による販路拡大を支援する
- 5 商品や産地のイメージ向上を図る取組やパッケージングの改良等を支援する
- 6 海外での商談会などの輸出拡大に向けた環境整備を支援する
- 7 本県産農産物の流通における風評実態を調査し、**その対策を講ずる**

### 産地の生産力・競争力強化

#### ○ 規模拡大や効率化により産地の生産力を高める

- 1 担い手への農地利用集積の取組を支援する
- 2 高性能機械やICT、省力技術等による高収量・安定品質の生産や規模拡大を支援する
- 3 飼料用米等の作付拡大、園芸品目導入など地域における水田フル活用の取組を支援する
- 4 **園芸**や畜産の規模拡大を支援し、生産量の拡大を図る
- 5 果樹等の輸出拡大に向けた生産・供給体制の整備を支援する
- 6 農地の大区画化・汎用化等の生産基盤の整備をすすめる

#### ○ 高付加価値化等により産地の競争力を高める

- 7 ニーズを踏まえたオリジナル品種の開発と生産拡大を図る
- 8 GI等の知的財産の活用や市町村の広域連携による生産・販売戦略の構築を支援する
- 9 有機農業、環境保全型農業の取組への支援や消費者理解の促進を図る
- 10 **農畜産物の機能性を含めた差別化、高付加価値化の取組を支援する**
- 11 種子法廃止に対応した主要農作物の種子の生産及び品質の確保を図る
- 12 農業を取りまく関連産業の情報把握と連携強化を図る

### 多様な担い手の育成・確保

#### ○ 若い世代への情報発信により、本県農業への関心を高める

- 1 地域の様々な農業について情報発信し、農業の理解や就農意欲の促進を図る
- 2 **職業としての農業**を幼少期から理解するため、様々な主体（若い農業者、農業女子、高齢者等）が関わるプログラムを創設する
- 3 担い手や新規就農者の育成にかかる県の重点支援をPRする

#### ○ 地域農業を支える担い手や新規就農者等の育成・確保を図る

- 4 担い手の技術・経営面における取組を支援し、所得向上と経営安定を図る
- 5 担い手の組織化・法人化、企業等の円滑な農業参入を支援する
- 6 後継者も含めた新規就農者等の技術習得や経営安定を地域全体でサポートする仕組みの構築を図る
- 7 就農希望者の受け皿となる農業法人の育成や地域の受入体制の整備を図る
- 8 **農業労働力の確保、農福連携の取組を支援する**

### 中山間地域等の活性化

#### ○ 魅力ある農山村の暮らしと環境を守る

- 1 農業・**農村**の多面的機能や地域コミュニティ、生活環境の維持・向上を図る取組を支援する
- 2 鳥獣被害軽減を図るための人材の育成や総合的な対策を支援する
- 3 **土地改良区の経営強化を支援する**

#### ○ 特色ある地域資源を活用し所得を確保する

- 4 地域特産物やオリジナル品種を活用した産地づくりやブランド化を支援する
- 5 豊かな地域資源を活用した地域産業6次化の取組を支援する

### その他（共通的な取組）

- 1 福島大学食農学類と連携した取組を推進する
- 2 循環型農業等と再生可能エネルギー、新規就農者確保と定住支援、地産地消と学校給食や観光等の取組について施策横断的に推進する
- 3 補助事業の手続き等の簡素化や政策形成過程の見える化を図る